

## 点字カレンダーを寄贈 県盲人福祉協に300部

### 県印刷工業組合青年部



山口県盲人福祉協会の舩尾政美理事長(左)に点字カレンダーを贈った山口県印刷工業組合青年部の岡崎吉男会長=17日、下関市

山口県印刷工業組合青年部(岡崎吉男会長、9社11人)は17日、下関市関西町の県盲人福祉協会(舩尾政美理事長)に、色覚障害者や色弱者にも優しいメディア「ユニバーサルデザイン(MUD) 点字付きカレンダー」300部を贈った。

カレンダーは「誰にでもやさしい」がコンセプトの点字表示の卓上型。文字の背景色を白にすることで見やすくしたほか、色覚障害者が土日祝日を判別できるようにマーク化するなど工夫を凝らしている。

贈呈式では岡崎会長(49)が「全ての人に使いやすいカレンダーになっている」

とあいさつ。代表でカレンダーを受け取った舩尾理事長(78)は「新しい年の点字カレンダーを最も身近な支援者として大事に有効に活用させてもらう」と感謝した。カレンダーは早速配られ、会員約30人が使い心地を確かめた。

同会へのカレンダー贈呈は5年目で、ことしは県内外の印刷資材メーカー31社の協賛を得て製作。同青年部は「9月印刷の月」に合わせ、2006年からMUDの普及啓発活動に取り組んでおり、16日には日本印刷産業連合会の印刷文化典で特別賞表彰を受けた。

2015年(平成27年)9月18日(金曜日)

山口新聞

山口新聞

山口新聞

山口新聞

## 県盲人福祉協に 点字カレンダー

### 県印刷工業組合が贈る



舩尾理事長(左)にカレンダーを手渡す岡崎会長

目で、カレンダーは点字新聞を通じて募る県内の希望者に配布される。

カレンダーは、色覚に障害がある人も認識しやすいように淡い色合いを使った「ユニバーサルデザイン」が特徴。A5判サイズで、指で点字を触れば、日付が分かるようになっている。

青年部と協賛企業31社が共同で作成した。

贈呈式で、同青年部の岡崎吉男会長(49)は「誰にでも使いやすいユニバーサルデザインの普及と啓発に努めたい」とあいさつし、舩尾政美理事長(78)に手渡した。舩尾理事長は「大事に、有効に活用したい」と感謝の言葉を述べた。